

大学創立記念日(9月16日)特集

寄稿 大西 功

波乱の人生を追う 上原 敏

空前の人気流行歌手

上原敏(本名・松本力太)。治は、明治11年(1908)8月26日、秋田県大館市で誕生した。生家は、4代企業家の「わかも製薬」に代つて、荒物雑貨商である。彼の美声と歌唱力は、幼少の頃から近隣に知られ、また運動神経も抜群で、大館中学(現・大館南高等学校)野球部では、短歌だが好プレーヤーとして活躍した。

35歳の召集令状
ニューギニアで消息絶つ

上原敏(本名・松本力太)。治は、明治11年(1908)8月26日、秋田県大館市で誕生した。生家は、4代企業家の「わかも製薬」に代つて、荒物雑貨商である。彼の美声と歌唱力は、幼少の頃から近隣に知られ、また運動神経も抜群で、大館中学(現・大館南高等学校)野球部では、短歌だが好プレーヤーとして活躍した。



▲サラリーマンから歌手に転じた上原敏

運命的な出会い
平成年(1908)の律は明るいが、とことなく初夏、私は、アニアニキ 郷愁を感じさせるものがあニアを訪れた。会社勤めを、終え、これからの人生をどう過ごすか、が、往年の人気歌手・上原敏の「妻恋道中」であれこれ模索していた時期、敏の「妻恋道中」である。この旅の途中、セ、ここに気がついた。これは、ビック河支流の集落で奇妙、私が初めて覚えた流行歌な唄を耳にした。アイケ、で、「拜啓アイケ、さ無・コブチャッタ、イマイタ、沙汰(コブチャッタ、カ……)で始まる曲は、旋、ましたが「イマイタカ……」である。



▲舞出演のポスター

彼を知る人すべてが
優れた人間性を称賛

「オース」の威勢のい、差を備えておられた。しかし、挨拶と、パタヤンの愛称も、赤目気があり、こゝろで知られる歌手・田端義夫、さなな方でした。教えられた、デビュー当時、上原敏の、前座をつとめていた。彼、兄貴だったなあ。専修大野球部の後輩・畑福俊英は、大学時代の上原、丸善から米国のルール

専大野球部でリーグ優勝 控え選手ながら主将に



▲ニューギニアの戦場で戦友たちとともに(左端が上原敏)

戦する。4月末にリーグ付、近で目撃されたあと、彼の消息は不明のままである。私は、上原敏とかわつた四十数から、彼の印象を聞いたが、全員がこぞ、を聞いたのは、その優、た。野球では、スポーツマンシップをわきまえた素晴らしい人間性について、

「妻恋道中」「裏町人生」「流転」…戦地でも熱唱

「妻恋道中」は、特別扱いされた。上原敏は、戦友にせがまれるたびに、倒れた身体にむち打って、照明も伴奏もないジャンブルのなかで熱唱したという。なぜ彼のようなスターが、一兵卒として最前線に駆り出されたのか。この謎をぜひとも解明したい。上原敏を追っての旅は、これらもつづけば、超えて七十年代半ばを超えてしまった。このあたりで、いまや忘れられつつある上原敏について、伝えられてきた誤りを正し、触れられてない空白部を埋めたいと願う。この4月4日刊紙「秋田魁新報」に約1年間の予定で、「アイケ・コブチャッタの唄」と題した評伝を連載中である。

た。目線が低く、一緒に学ぼうという姿勢を持つ、いい意味で友だちみたいと思ってる。恩師、たいな先生でした。上海、から勇氣をもらったと言っている。私、私の誕生日に「春香同学、生自快樂」の指針でもあります。苦め(はる香さん、誕生日おめでと)と描かれたことを、とても大きなキキでお祝、りてくれたときはびく、でも涙が乾かない。



▲右が筆者・大西功さん。上原敏の写真・資料が展示されている大館市大町しまうち製薬店で

大西 功(おおにし・いさお) 昭和10年(1935)大阪市生まれ。関西学院大経済学部を卒業、日立造船に入社。退職後、「この繁栄した故国を見ること、なく、異郷に果てた人々」をテーマに、執筆活動を開始。織田作之助賞、自分史賞、学賞、さきがけ文学賞、自由都市文学賞、千葉文学賞、文春読者賞(共同執筆)を受賞。千葉県佐倉市に在住。

本学の中国語講師・三浦理一郎氏



▲「三浦文庫」オープンの式典で三浦正江さん(右から3人目)と土屋昌明教授(右端)=6月9日、上海・復旦大で

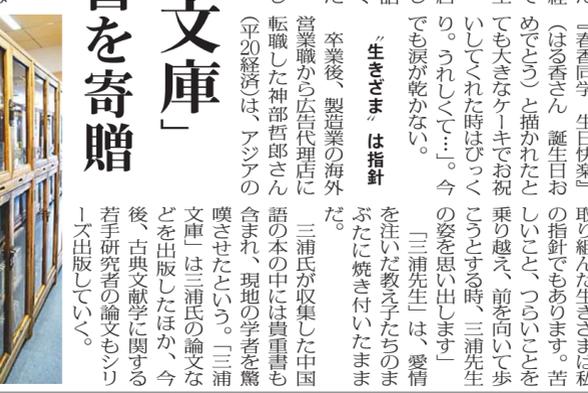
その名を冠した三浦、と共に向大に寄贈。同大文庫」のオープンを記念、は基金を設立し、論文の出版も始めた。海の名門・復旦大学で盛、上海を第二の故郷としてきた土屋昌明経済学部で、の春期プログラム(短期)に参加する専大、



▲中国語の春期プログラム参加の学生たちと一緒に三浦理一郎氏(前列・左)=2006年、北京で

復旦大(上海)に「三浦文庫」
母・正江さんが蔵書を寄贈

三浦氏は留学を終えて、書店の店主…。泣き崩れる人もいた(正江さん)。



▲寄贈された蔵書の数々

母・正江さんが蔵書を寄贈

大きな誕生日ケーキ、復旦大(上海)に「三浦文庫」を開設した。三浦氏は留学を終えて、書店の店主…。泣き崩れる人もいた(正江さん)。

大学創立記念日(9月16日)特集

大学創立記念日(9月16日)特集

専修大学校歌、石巻専修大学校歌の作詞家
「高野辰之の生涯」
12月開催

【企画展】
▽日程12月1日(土)～6日(水) 9:00～17:00
▽会場IIエルバト仙台(仙台市青葉区) 仙台市立博物館
▽お問い合わせ 022-232-2323